

# こだま

第172号  
2010.7

ISSN 0915-8782

## CONTENTS

- ほん和かふえ。オープン記念対談 ..... 1
- ブックラウンジから始まるコミュニケーション ..... 4
- 明後日朝顔プロジェクト2010金沢 ..... 6
- 金大生のための読書案内 ..... 7
- トピックス ..... 8

金沢大学附属図書館報 “こだま”

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp>

# ほん和かふえ。

## オープン記念 対談

ダートコーヒー株式会社  
代表取締役社長

# 水上 慎太郎

mizukami shintaro



みずかみ しんたろう

ダートコーヒー株式会社  
代表取締役社長

2001年に入社後、常務取締役  
管理本部長を経て、2006年に  
代表取締役社長に就任する。



しばた まさよし

金沢大学教授  
2008年より金沢大学人文学類  
長（文学部長兼任）と金沢大学  
附属図書館長を兼任している。



金沢大学附属図書館長

# 柴田 正良

shibata masayoshi



「ほん和かふえ。」がオープンしてはや2ヶ月。オープンを記念して、「ほん和かふえ。」を運営しているダートコーヒー株式会社社長の水上慎太郎氏と、柴田正良附属図書館長、お二人の対談を企画しました。対談は、去る6月某日、「ほん和かふえ。」で買ったコーヒーを片手に、ブックラウンジで行われました。

司会：岡部幸祐（情報サービス課長）

## 思い出のコーヒー

**柴田**■水上社長は現在ダートコーヒーの社長をされていますが、コーヒーに係わる仕事を選択したきっかけというのはありますか？「やらない」という選択肢もあったと思うんですが、やっぱりコーヒーが好きだったから？

**水上**■まあ家業ですから（笑）。物心ついた頃には、自分の傍に常にコーヒーがありましたし、自分自身も幼少期からたっぷりの砂糖とミルクを入れてコーヒーを飲んでましたんで。

**柴田**■ちなみにその飲み方は今も変わらないですか？

**水上**■いやあ、今はそんな飲み方はしません（笑）。

**柴田**■砂糖をたっぷりということは、お菓子代わりというか、ジュースのように飲んでいたということですかね？

**水上**■そうですね。まあ子供の頃ですから。砂糖を大さじ3杯位入れて飲んでいたと思います。

## 金沢とコーヒー

—金沢のコーヒー消費量はどれくらいですか？

**水上**■金沢は全国の都市の中で、コーヒーにかかる一人当たりの金額が高いんです\*。これは統計にも出ています。これに関して、色々なところから当社の方にも問合せがあるんですよ。「こんな統計がでてますけど何故ですか」と。これに対する回答でこれだ！っていうのはないんですけど、やっぱり金沢の人の食に対する意識の高さというんでしょうか、そういうものがコーヒーに対してもあるんでしょうね。おいしいコーヒーを求める人が多いんだと思います。

**柴田**■それは、コーヒーが金沢の人に好まれているということですかね。実は前に、金沢にはカフェとかコーヒー店が多いと聞いたことがあるんですが、実際どうなんですかね？

**水上**■昔は全国でも多い都市だったようです。学都金沢と言われるように、四高があって、学生が多かった。

**柴田**■確かに今でも学生の数は多い。

**水上**■学生とコーヒーの文化というのは結びつきがあったようです。だから喫茶店やコーヒー店などが多くあった。ただ、現在は喫茶店という形では、名古屋とか岐阜が断然多いですね。あちらの地域は、生活の中に喫茶店が取り込まれていますから。朝は喫茶店でモーニングしてから仕事に行く。週末は家族全員で朝、喫茶店に行って、それから1日が始まる。

**柴田**■私も名古屋にいたことがあるので、わかります。モーニングの量が多いですよ。

**水上**■モーニング文化っていうのは、あの地域特有のものでしょ。コーヒー1杯の値段でトーストがつく、卵がつく。

**柴田**■サラダもつきますよね。

**水上**■そうですね。最近では北陸にもその文化が入ってきていますね。我々としても北陸でモーニング文化を浸透させていきたいなあという思いはあります。



**柴田**■金沢独特のコーヒーの好みってありますか。

**水上**■全国でコーヒーを飲まれるとわかると思うんですが、例えば関西とか名古屋のコーヒーって濃いですよ。金沢はどちらかというとなっさりとした感じですよ。

**柴田**■それはローストが違うということですか。

**水上**■もちろんローストも違いますし、あとやっぱり水が違うんだと思います。水がおいしいと浅く焙煎した豆でもおいしいんです。水の味をごまかす必要がないんですね。あと食事の影響しているかもしれないですね。あっさりとした和食にも合うようなコーヒーが好まれているのでは、と思います。



### ●●「ほん和かふえ。」の美味しいおすすめ●●

店員さんのおすすめは・・・

カフェ・モカやキャラメル・マキアートといったコーヒーメニューもさることながら、店員さんイチオシは意外にも『抹茶ラテ (290円)』。『抹茶にこだわりました!』とおっしゃる通りとても滑らかでおいしいです。

図書館の皆さんのおすすめ

私のおすすめは全部!と言いたい所ですが、あえて1つを選ぶなら、今の季節にぴったりの『ほん和くーらー (カフェラテ・抹茶・ベジタブル各390円・-halfサイズ250円)』です。特にベジタブル味は、フローズンなのにベジタブルってどんな味?とおそろおそろ飲んでみたところ、りんごペースでさっぱりしていてこれは飲みやすい! 皆様も暑い日には是非お試しください!

## 「ほん和かふえ。」と図書館

——「ほん和かふえ。」を含んだこのスペースはイベントができる形に設計してあります。図書館も色々なイベントを積極的に企画していきたいと思っています。

**水上**■我々も図書館側も目的はいかに学生に図書館を利用してもらうか、ということです。なので、協力して色々やっていきたいと思っています。

**柴田**■私の個人的な意見なんですが、図書館をもう少し美術館に近づけたいと思ってるんです。最近の美術館は絵や彫刻を見せるだけではなく、パソコンを置いて情報検索できるようになっていたり、レストランやカフェがあったりしますよね。図書館の本体はもちろん書籍や雑誌だけど、それだけではなく、最近の美術館のように居心地よくおしゃれな空間にしたい。この「ほん和かふえ。」の空間はそのイメージに一步近づいた感じなんです。

**水上**■入口として大事ですよね。

**柴田**■新しい空間として期待しているんです。私どもとしては、この空間全体を図書館が美術館に近づいた部分として位置づけたい。

**水上**■そういう方向性の中で、我々もカフェを運営して、その一端を担えればと考えています。

**柴田**■カフェのように、飲み物が提供されて、リラックスできる空間がないと、ダメなんです。カフェがないと単に椅子があるだけの空間になってしまう。

——自動販売機ではダメですよ。

**柴田**■自動販売機じゃあダメですよ。

**水上**■そうですね。

**柴田**■単に椅子があつて、たまに絵が飾られてたり、たまに研究発表会が開かれたりじゃ、ちょっと味気ない。やっぱり常に人が集まっていて、議論を交わしているとか、情報交換しているとか、友達と待ち合わせしているとか、そういう空間が自然にできるのがカフェだと思うんです。

\*統計局調査都道府県庁所在市及び政令指定都市別ランキング（平成19～21年平均）で全国3位。

——ここが出会いの場になればいいなと考えています。ここから何かが始まったり、生まれたり。

**水上**■カフェは人が集う場ですよね。今、集客の一つのツールとしてカフェが重要視されているんです。本屋とかにも併設されていたりしますよね。我々も図書館に学生を呼び込む、そのお手伝いできればと考えています。

——メニューについて学生から意見を聞く、そういう手伝いを図書館もしたいと思います。

**水上**■学生あつての店なので、声を聞いて、学生が求めているものを提供していかなければならないと思っています。今は試行錯誤しているところですね。

**柴田**■「ほん和かふえ。」独自のカラーが出せるようになるといいですよね。

——それでは最後に「ほん和かふえ。」に対するお二人の考えをお聞かせください。

**水上**■我々としては親しみやすい店を目指しています。なので、金沢大学の学生に勉強の合間の一服として利用してもらえればと思っていますね。コーヒーを飲んでリラックスして、更に勉強に励んでいただければ。

**柴田**■私は先程もちょっと話しましたが、入館ゲートの向こう側は本来の図書館で、この「ほん和かふえ。」がある空間は、例えば21世紀美術館と図書館をつなぐ融合部分だと考えています。まあ、21世紀美術館は空間的に大分離れていますけど（笑）。なので、この空間にはギャラリー機能や小さな研究発表の場としての機能を持たせたいですね。



「ほん和かふえ。」前にて 水上社長(左)と柴田館長(右)

(情報企画課 川井奏美)

## 「ほん和かふえ。」 オープニング・セレモニー開催

4月6日「ほん和かふえ。」のオープニング・セレモニーを行いました。水上慎太郎ダートコーヒー社長、高木繁雄北陸銀行頭取、中村信一学長、櫻井勝情報担当理事、柴田正良附属図書館長によるテープカットの後、学生サークルのモダン・ジャズ・ソサエティの演奏をBGMにして試飲会を行いました。





# ブックラウンジから始まる コミュニケーション

今春、オープンした「ほん和かふえ。」。そのカフェのある空間がブックラウンジです。  
今号では、ブックラウンジってこんな風に使えるんだという実例を、利用された方の感想とともに紹介します。

## 1 イベントコーナー

ブックラウンジで研究発表会や  
サイエンスカフェなどのイベントを  
開催してみませんか？

プロジェクター、スクリーン、マイク、DVDプレーヤー  
を備えています。ゼミやサークルの発表などにもご利  
用ください。



EUカフェ「今日のEU」 (5月13日開催)  
講師 人間社会研究域 上條勇先生、佐藤秀樹先生



若手研究者海外派遣プログラム・プレゼンテーション  
(6月16日・23日開催)



とぼら主催映画上映会「バルカン超特急」上映(6月2日開催)

## 2 ギャラリーα

ゼミ・サークルなどの成果を発表してみませんか？  
ブックラウンジの壁面を使った展示スペースです。  
名前はギャラリーですが、研究発表、ポスターなど  
芸術作品以外の展示も歓迎します。



環境文学特別パネル展示「環境文学展」(6月4日～7月2日開催)  
ASLE-Japan/文学・環境学会 主催

### ほん和か文庫 (現在計画中)

ブックラウンジの3つ目のコーナーとして開  
設の準備を進めているのが、「ほん和か文庫」です。

文字通りの“ブック”ラウンジを目指して、  
新聞だけではなく、本や雑誌も置く予定です。

選書には、図書館ボランティア「とぼら」が  
協力してくれることになっています。「ほん和か  
文庫」にご期待ください。

## ブックラウンジ利用者インタビュー

ブックラウンジを実際に利用してみたの感想をお聞きしました。

### 佐藤 秀樹 先生（5月13日開催「EUカフェ」講師）



カフェで発表をすることにより、普段、接することができない他学類の先生、学生と交流を持つことができました。当日は異分野の方にも多く来て頂き、短時間での発表と幅広い視点に基づく質問への対応を通じて、如何に理解して頂けるかを考える契機となり、教員にとってプラスの経験となりました。今後、自身の専門分野に関心を寄せて頂ける方々に研究紹介をさせて頂く良い機会にもなりそうです。

（人間社会研究域経済学経営学系准教授）

### 永田 伸吾 先生（6月16日・23日開催「若手研究者海外派遣プログラム・プレゼンテーション」司会）

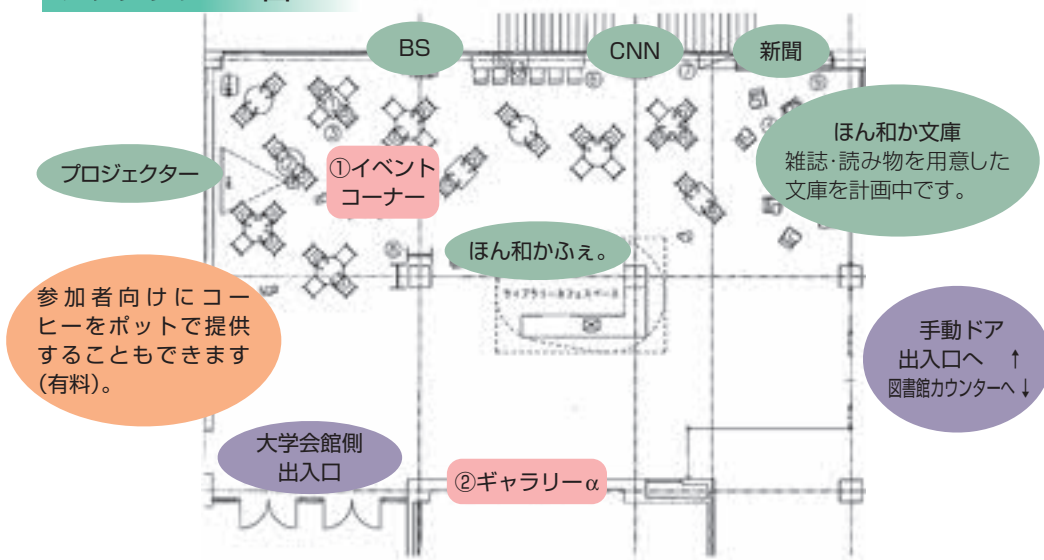


他の教室ですと、参加者から場所がわからないという問い合わせを必ず受けませんが、今回は1件もありませんでした。オープンな場所なので、参加者の出入りもスムーズに行えます。会場では、知り合いから声をかけられることもありました。開かれた場所なので自分たちの行っている活動を紹介する場になるかもしれません。

（子どものこころの発達研究センター）

今回、ご紹介した「イベントコーナー」、「ギャラリーα」のご利用を希望される方は、使用の1週間前までに中央図書館係（内線5211）までご予約をお願いします。会場の利用方法、広報についてのご相談も受け付けております。

### ブックラウンジ図



ブックラウンジでは、CNNやBS等の視聴ができます。ヘッドホン（CNN用）が必要な方はカウンターまでお申し込みください。新聞の当月分も置いておりますので、ゆったりとお楽しみください。

（情報企画課 中込崇）







渡辺 良成 教授(イノベーション創成センター)

## 「ノーベル賞受賞者に会ってみよう! －自伝を読む楽しみ－」

平成22年4月1日～ 中央図書館で展示中



リレー形式で続いている教員おすすめ図書コーナーです。今回6人目として図書を推薦して下さったのは、イノベーション創成センターの渡辺良成先生です。

読書案内を紹介するにあたり、私の尊敬する方々の自伝を中心に並べてみました。古典から、半古典というべきものです。

新刊書店では手に入れにくくなっている書籍でも、手軽に手に取ることができるのが、図書館のよいところですので、この機会に足を運んでみてください。テーマは生物系、物理系のものが中心ですが、むしろ、人文社会系の学生さんにも若いうちに触れておいていただきたいものを意識して選びました。

紹介する本の著者は最初の1冊を除き、ノーベル賞受賞者です。2番と3番で紹介する私がもっとも敬愛するアーサー・コーンバーグ博士の著書は、「読書案内」を私の前に書かれた医学類の山本博教授が紹介予定だったところを私のために残しておいてくださいましたので二重にお薦めということになります。

ノーベル賞受賞者に直接会ったり、話を聞いたりすることは、ごくごく稀なことですし、故人の場合は、もちろん、残された著作などを通じてしか、触れることはできませんが、自分の好きな場所と自由時間で著者と静かに向かい合うことができるのは、読書の利点です。

そして、場合によっては、運と意思があれば、著者本人に実際に対面し対話することも夢ではありません。私が体験したその実例は、どうぞ以下のHPにもアクセスして読んでみてください。

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/portal/osusume/1004watanabe.html>

	書名	著者・編者	出版事項	所在・請求記号
1	古代への情熱:シュリーマン自伝	シュリーマン	岩波書店, 1976. 2	図開架 I 289. 3: S344 k 医図書 289. 3: S344
2	輝く二重らせん:バイオテクベンチャーの誕生	アーサー・コーンバーグ	メディカルサイエンスインターナショナル, 1997. 5	図開架 499. 09: K 84 医図書 QU1: K 84
3	それは失敗からはじまった:生命分子の合成に賭けた男	アーサー・コーンバーグ	羊土社, 1991. 5	自然図・医保図 464: K 84
4	二重らせん	ジェームス・D・ワトソン	講談社, 1986. 3	図開架 464. 27: W339 医図書 QU58. 5: W339
5	DNAのワトソン先生、大いに語る	ジェームス・D・ワトソン	日経BP社, 2009. 4	自然図・医図書 289. 3: W339
6	旅人:ある物理学者の回想	湯川秀樹	角川書店, 1960. 1	図開架・医図書 289. 1: Y 94
7	湯川秀樹日記:昭和九年:中間子論への道	湯川秀樹	朝日新聞社, 2007. 12	図開架・医図書・自然図 289. 1: Y 94
8	精神と物質:分子生物学はどこまで生命の謎を解けるか	立花隆, 利根川進	文藝春秋, 1990. 7	図開架 464. 1: T 117 医図書 QH506: S 462
9	私の脳科学講義	利根川進	岩波書店, 2001. 10	図開架 S 491. 37: T 664 医保図 491. 37: T 664
10	同時代ゲーム	大江健三郎	新潮社, 1979. 11	図開架 913. 6: O28



図書館



### 「リクエスト図書制度」をご活用ください。

研究や学習に必要な図書、学生に読んでほしい図書など図書館においてほしい図書がありましたら、この制度をご活用ください。

図書館オンラインサービスの「購入リクエスト」のボタンをクリックしてご依頼ください。研究や学習が目的の図書に限ります。在学生の方には購入後最初にご連絡します。

### ご自分のノートパソコンから図書館で印刷できるようになりました。

中央図書館内の無線LANに接続されたノートPCから1枚10円で印刷できるようになりました。ただし、ご利用の前に、ご自分のノートPCへの設定が必要です。設定の手順は以下のURLをご覧ください。  
[http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/portal/user/note\\_prt.html](http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/portal/user/note_prt.html)

### 図書館の利用方法はわかりましたか？

全学類1年生を対象とした以下の授業で、図書館職員が講師を務めました。授業では利用案内からOPAC, CiNiiの使い方までをお話ししました。実際に図書館を利用していただくのはこれからです。わからないことがありましたらカウンター係員にどんどんお尋ねください。



- ・大学社会生活論  
(大学図書館の利用法)  
4月9日～5月25日
- ・情報処理基礎  
(情報検索の基礎)  
第5・6回  
5月7日～5月28日

### 続々！企画展示をお楽しみください。

図書館では、テーマに添って資料を展示する「企画展示」を行っています。今年はずでに以下のような企画展示を開催しました。今後ともご期待ください。

- ・トップに聞く「記憶に残る1冊」展示  
4月1日～30日
- ・特別資料展示 棟方板画愛染品と俳味大鑑  
(暁烏文庫より) 4月5日～30日
- ・EU資料展「EU資料に親しもう！」5月11日～20日
- ・環境文学特別パネル展示「環境文学展」  
6月4日～7月2日
- ・環境文学おすすめ図書展示 6月4日～7月2日



EU資料展



環境文学おすすめ図書展示

### 活動記録 (2010.4-2010.6)

#### ☆講習会など

- SciFinder web版 デモンストレーション  
5月12日 自然科学系図書館
- SciFinder 講習会  
6月17日 自然科学系図書館

#### ☆会議など

- 図書館委員会 (第1回 5月26日)
- 学生用図書選定部会  
(中央図書館 第1回 6月15日)  
(自然科学系図書館 第1回 6月7日)
- ラーニング・commons運営部会  
(第1回 6月16日)